

進路だより

令和5年5月13日
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
進路指導部 発行

新年度がスタートして、約1ヶ月が過ぎました。進路指導部では、今年度も進路の情報をお伝えする「進路だより」を発行していきます。今年度、皆さんの進路指導を担当するのは高等部は井村・寺前・大谷、中学部は栗山・大森、小学部は堀田の6名です。進路行事の企画・運営、進路開拓、進路情報の収集などを行い、皆さん一人ひとりの進路実現のために積極的に進路情報の提供に努めていきます。

さて、今年度最初の行事は進路懇談会と高等部3年生の進路相談でした。コロナも終息に近づいてきたということで、講演会には高等部の生徒・保護者に加えて中学部3年生の生徒も参加しました。講演等の詳細は、以下の報告をご覧ください。また、講演後は高等部3年生の生徒がそれぞれ進路相談を行いました。各居住地管轄の職業安定所の指導官に直接来校頂き、改まった雰囲気の中、それぞれの希望の職種や勤務地を担当者に真剣に伝えていました。

①進路懇談会のお話より・・・

進路懇談会の「講話Ⅰ」は、姫路公共職業安定所（ハローワーク姫路）の主任就職促進指導官北川ひろ子様より、『卒業後の就職に向けて』という演題でお話をしていただきました。

1. ハローワーク（公共職業安定所）とは、どんなところ？

- ・ 仕事に就きたい「人」と企業の「仕事」を結びつける国の機関。
- ・ 仕事を探している人や、仕事をしてくれる人を探している会社の人が利用。

求人情報の検索や、就職相談、雇用保険（失業給付）の手続きなどを行っています。



2. 最近の雇用状況

(1) 有効求人倍率（令和5年2月末現在）

兵庫県・・・有効求人倍率**1.02倍**（仕事を探している人100人に対して、
102人分の求人（仕事）がある、ということ。）

(2) 高校生の就職状況（令和5年2月末現在）

兵庫県の状況 求人数**15,750人**、就職希望者数**4,327人**、就職内定率 **97.9%**

(3) ハローワーク姫路管内の雇用状況

令和3年度 新規登録者**975人**、就職者数**359人**（うち聴覚障害者**16人**）

3. 「働く」のに必要なことは？

まず、みなさんが「働きたい」という強い気持ちを持つことと、会社から
「働きに来てください（＝採用します）」とってもらうことが必要です。

<どんな人が「採用します」とってもらえるのか。>

- 指示されたことを理解し、それを実行できる人。
- 一生懸命、仕事に取り組むことができる人。
- 遅刻をしない人。

この3つを続けることができる人に、会社は「採用します。」とってくれます。

4. 学校生活において取り組むこと。

<次の3つを、毎日、くり返し頑張ってください。>

- 指示されたことをしっかり理解し、それを実行すること。
- 毎日一生懸命、手を抜かずに授業をうけること。
- 毎日時間までに登校し、遅刻や欠席をしないこと。

この3つができれば、実習に行ってもしっかり頑張ることができます。

5. 学校と会社の違いは？

学校では休んでも他の人に迷惑はかかりませんが、会社では他の人に大きな迷惑がかかります。働くときには、自分の体調や生活面の管理も大切になってきます。職場実習の機会などもあると思うので、真剣に実習に取り組みましょう。

講話Ⅱは、ロックペイント株式会社福崎工場製造部
参与 祖父元恒昭様より 『姫路聴覚特別支援学校の
皆さんへ』という演題でお話いただきました。

1. 自己紹介

ロックペイントの祖父元です。本校とは約35年前に
ご縁があり、当時本校卒業生の野球チームがあったのですが、
私自身が少し野球の経験もあったので、練習のお手伝いをしていたことがあります。そこで、
毎週のように本校のグラウンドで練習をしていた、たいへん懐かしい思い出があります。本日は、
よろしくお祈りします。



2. もの作りの基本

今から皆さんに課題を出します。6つの班に分か
れて下さい。ひもを1本ずつ配りますので、定規(物
差し)を使わずに「30cm」の長さを作って下さ
い。どうですか?できましたか?班ごとに結果を見
てみましょう。40cmを超えた班もありました
(笑)。一番近い班は、28.5cmでした。この班



が優勝です。おめでとうございます。靴のサイズなど、みんなで協力して情報を出し合いなが
ら1つの結果を出していく、というのが仕事の基本になります。こういう遊びを通じて、もの
作りの基本をおぼえてほしいと思います。

3. 会社について

ロックペイントは塗料と接着剤の製造販売を行っている塗料の総合メーカーで、福崎工場
では水性塗料と溶剤系の塗料を作っています。現在従業員は54名です。当社の塗料は、自動車
の車両やUSJの地球儀、街中の自動販売機や洋服の青山、シャトレゼ、エネオスなどの外
装にも使用されています。また、家庭用の塗料はホームセンターを通じて、一般にも広く販売
しています。接着剤については、食品のアルミパウチやポテトチップスなどのラミネートフィ
ルムにも使用されています。

4. 社会問題を解決するために

持続可能な企業を目指してロックペイントは積極的にSDGsに取り組んでいますが、大き
な課題が二つあります。一つは環境問題、もう一つは少子高齢化による人材不足です。

環境問題に対しては、福崎工場では、リデュース、リユース、リサイクルの3Rに力を入れ
ています。昨年の12月に、福崎工場の取り組みが神戸新聞で紹介されました。福崎工場では

木製のパレットを多く使っていますが、パレットを修理・補修するときに出る廃材をチップ化し、たい肥にして、工場内の空き地を利用した畑に使っています。昨年にはジャガイモがたくさん取れたので、地域貢献の一環として地元の障害者施設等で使っていただきました。

少子高齢化の対策については、ダイバーシティインクルージョンの向上を目指しています。2016年の福崎工場は生産の中心は男性従業員（全体の76%）で、女性は事務職だけ、高齢者も1名でした。しかし2022年には、女性、高齢者、障害者で全体の47%を占めています。仕事内容も職場の環境改善を行い、女性、高齢者、障害者が現場で働ける職場となりました。障害者雇用でも6年前から支援学校から卒業生を受け入れています。まだ1名の離職者も出ておりません。具体的な取り組みを紹介します。

①工場への通勤の容易化

障害者の雇用を促進するため、福崎工業団地の発起人となり、公共バスの乗り入れを地元自治会に働きかけました。2年前から本格運行されることとなり、支援学校の生徒を実習生として受け入れることも可能となり、雇用拡大につながっています。

②実習制度の活用

実習制度を通じて、個々の能力や個性に合わせた業務の選定を行い、採用の判断をしています。実習から採用まで丁寧な手順を踏むことで、長期の就業につながると考えています。

③里親制度の設置（社員の磯村様のお話）

私自身が転職してきたときに、困ったことなどを相談しづらかった経験があったので、後輩たちには業務内で時間をとり、日頃の業務の悩みとかを落ち着いて相談できる場を作っています。少しでも早く会社になじんでもらい、成長を促せたらと考えています。

④作業の軽減

以前は力持ちの男性社員が重い石油缶を両手で持ってパレットに運んでいましたが、らくらくハンドという機械を導入することによって女性でも楽に作業ができるようになり、また労働災害などの事故も防ぐことができ、持続可能な職場環境となりました。

5. 作業体験

お話も長くなりましたので、商品に少し触れてもらおうと思います。いくつか小物を用意しておりますので、それに直接自分で好きな色を塗ってもらいたいと思います。

大体塗れましたでしょうか。塗り残しがあったりとか、慣れないうちは難しいですね。乾燥したら、お土産として持って帰って、家の小物入れなどに使ってみてください。



6. 仕事に対する心構えなど

①約束を守る（時間を守る）

ロックペイントは、8時半に仕事が始まります。この時間に出社することが、社員と会社の間の約束です。この約束を守ることで信用も大きくなり、先輩からかわいがってもらい、色々仕事を教えてもらって、自分自身の仕事の技術が上がります。そうすると、会社にとってその人がなくてはならない人材となって、その人の定着に結びつきます。これは別に社会人に限ったことではなくて、学校では授業が始まる前にきちんと登校するのと同じことです。

②体調を管理する

夜遅くまでゲームをしたりテレビを見たりすると、翌日の仕事に影響します。もし体調不良のまま出社したら、仕事がうまくいかなくなり、製品の不良や怪我とか事故に繋がります。会社にとって大きな損害を与えることにもなりかねません。前日の夜から翌日の仕事は始まっているという考えで、きちんと体調を整えてから出社することが大切です。

③分からないことを、分からないままにしない

実習生の場合、気を使って、よくわからないのに「わかりました」と言ってしまう傾向があります。もしわからないまま、間違っただけのまま仕事を続けると、製品の不良に繋がって会社に損害を与えます。ですから、わからないときは、きちんとわかりませんと伝えて、わかるまできちんと聞くようにしてください。当社では何度聞いても怒りませんので、そこは大丈夫です。もし当社で実習をする機会があれば、遠慮なくわかるまで聞くようにしてください。

7. みなさんへのメッセージ

学校生活で身に付けることは何か、とよく聞かれます。これは私の考えですが、「今しかできないことを、今やる。」ことが大事だと思います。何か特別なことをするのではなく、高校生（中学生）として、一生懸命部活動に取り組んだり、友達と遊んだり、時には先生や保護者に注意されたり、当たり前のことですが、今という時間を大切にして、今できる目の前のことに全力で取り組んで欲しいと思います。仕事は順調にいくことばかりではありませんので、何か壁に当たったとき負けないで、へこたれない気持ちを持ち続けることが大切です。

生徒の感想文より・・・＜抜粋＞

- 最近の雇用状況を分かりやすく説明して下さったおかげで、理解できました。また働く際に、指示されたことを理解して実行することが必要とおっしゃられた時、仕事の言葉は難しいことが多いので、きちんと言葉の意味を理解しておかないと、と感じました。

- ハローワークの話をしっかり聞いて、将来のことが考えられるようになりました。自分の働く姿をちょっと想像できました。やはり難しい所はありますが、無事に働けるよう努力して、学校生活を頑張っていこうと思いました。
- 学校と会社の違いを考える所で、やはり会社って大変だなと思いました。立ち仕事があったり、1時間ごとの休憩ではない場合もあることなど、大変だなと思いました。
- 会社は、約束が守れる人、遅刻しない人、体調管理ができる人を採用していると知りました。私はたまに宿題を忘れてたりすることがあるので、今から気を付けていこうと思います。
- 仕事にストレスがある、とよく先輩たちから聞くけど、その理由は自分の会社に興味を持ってないからではないかと考えました。そして、仕事に興味を持つには知識、スキル、意欲が大切なんだろうなと思いました。
- ハローワークの話を聞いて、仕事の難しさを感じました。また、仕事に就くための大切なことなどを詳しく知ることができて、よかったです。ロックペイントさんの話は聞いていて楽しかったです。この会社で働いてみたいと思うようなお話でした。
- 私は何かを頼むとき、相手が忙しくて迷惑をかけたらどうしようと思うことが多いけれど、ロックペイントさんは「遠慮しないで聞いて下さい」と言って下さったので、こんな会社で働いてみたいと思いました。
- 約束を守ることで信頼を得ることができるんだなと思いました。体験では、みんなと協力して相談しあうことが大切だと思いました。今はコミュニケーション力を上げたり、毎日学校に登校して勉強することを頑張りたいなと思いました。
- 仕事への心構えでは、約束を守る、健康管理、分からない時は分かるまで聞く、ということは学校でも共通する同じことなので、しっかりとやっていきたいです。
- お二方の話を聞いて、残りの1年間をしっかりと頑張っておこうと思いました。時に困難なこともあるかもしれませんが、毎日努力して頑張ろうと思う気持ちを大切にしていきたいです。

ご講演いただきました北川様、祖父元様、ありがとうございました。

保護者の方々の感想より・・・＜抜粋＞

- どんな職があるのか、できるのか分かりませんが、まずは生活を大切にすること、社会性を身につけること、友達と遊ぶこと、普通の生活が大切にできることを家庭でも気を付けていきたいです。

- 本人がやる気があれば何でも挑戦し取得ができる、他の企業でも同様なのでしょうか。色々な企業の方の話や、大学の方の話もお聞き出来たらと思います。
- 企業の取り組みが詳しく説明されていて、とてもよくわかりました。障害者雇用枠の（採用人数）、就職希望人数、毎年違うと思うが、どうだったのか聞いてみたい。
- 様々な就職先があることなど、講話も大変参考になりました。ありがとうございました。

お忙しい中、ご参加いただきました保護者の皆様、

ありがとうございました。

②進路相談の様子



体育館での講話のあと、場所を会議室に移して進路相談（職業相談）を行いました。今年は姫路職安、高砂職安、伊丹職安の担当官にご来校いただきました。

お越しいただいた担当官の皆様、ありがとうございました。

今年度の進路行事予定

- 4月24日（月）～ 高等部進学希望者の補習開始
☆ 就職希望の高3生は随時、実習が入ってきます。
- 7月 8日（土） 高1・2・3年 進学希望者の総合学力模試（記述）
- 7月10日（月）～14日（金） 就業体験 高2・3年 校内実習 高1年
- 10月23日（月）～27日（金） 就業体験 高1・2年（就職希望者）
- 11月 4日（土） 高1・2・3年 進学希望者の総合学力模試（記述）
- 12月 日時未定 卒業生の体験談を聞く会
- 1月13日（土） 高1・2年 進学希望者の総合学力模試（記述）
- 2月 3日（土）・4日（日） 高2年 進学希望者 マーク模試